



あったかハート推進週間の取組（4月）

今年度、附属小学校では子供たちに温かな心を一層育むことを重点として取り組んでいます。その一つとして、月に1回「あったかハート推進週間」を設置しました。相手を思いやる心や寛容な心を育てようと、全校一斉の道徳科授業や人権を意識した児童会活動等を展開します。

4月は、以下の内容で道徳科の授業を行いました。

月	期 間	内 容
4月	4/18（月）～22（金）	道徳科の授業① 内容項目：友情, 信頼（低学年）、相互理解, 寛容（中・高学年）

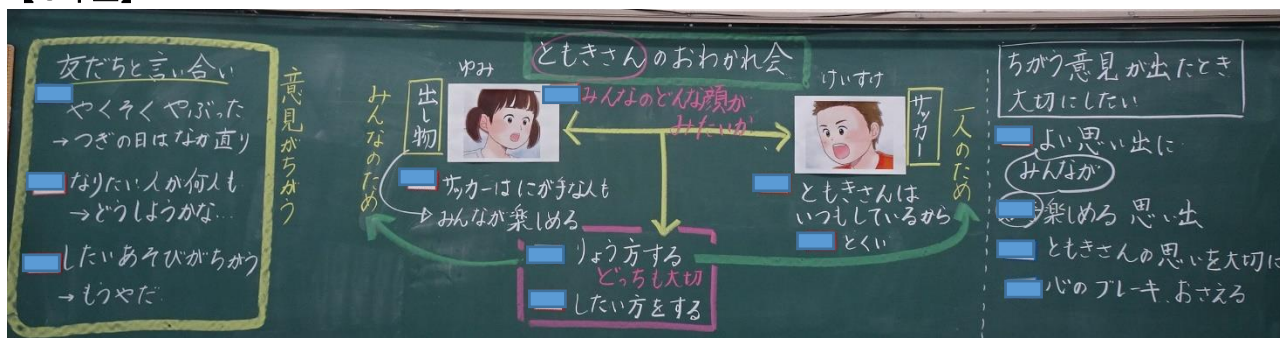
1 実際の授業

【2年生】

2年生は教科書の「きれいな羽」を読んで、友達と気持ちよく過ごすためには、どうすればよいかについて話し合いました。

話し合いを通して、自分勝手はよくない、相手に命令するのもよくないと考える様子が見られました。授業の終わりには、「友達のためにがんばることが大切」、「友達を大切にする人は友達がたくさんできる」と、これからの友達との望ましい関わりについて考えていました。

【3年生】



3年生は教科書の「ともきさんのおわかれ会」を読んで、友達と意見が対立したときに、どうすればよいかについて話し合いました。

授業では、互いの考えをどちらも大切にしたい方と考えるようになりました。また、授業の終わりには、自分だったらどうするかを考え、これまでの自分の行動を見つめ直していました。

2 各学年で行った授業の感想

- ・今よりもっとやさしい自分になりたいです。（1年生）
- ・友達と仲よくなるために、友達の気持ちが分かるような人になりたいと思います。（2年生）
- ・自分の考えと違う意見が出たときは、自分の心のブレーキを抑えて、相手の思いを大切にしたいと思います。（3年生）
- ・わたしは心を広くしたいです。相手が不安になったり嫌な思いをしたりしないように、人のことを思う心を高めていきたいです。（4年生）
- ・自分と気が合わないからといって怒るのはおかしいです。だから、決めた約束はしっかり守った方がよいと思いました。（5年生）
- ・自分の主張と相手の主張のどちらも大切にできるように、大事なところは聞き逃さないようにしようと思いました。（6年生）

子供たちに、温かな心が育っていく様子をととても嬉しく思います。